

創啓大学 専任教員募集要項

- 1 所属及び職名 ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科
教授、准教授、講師又は助教 1名
- 2 公募する専門分野 環境学
- 3 担当予定科目及び担当業務
- 担当予定科目
- <主担当科目>
- ・ 環境学入門（必修科目、原則英語で開講する。）
 - ・ 都市環境論（令和8（2026）年度まで開講維持）
 - ・ 環境工学（令和8（2026）年度まで開講維持）を担当できることが望ましい。
 - ・ 令和9（2027）年度以降は、次のキーワードにより、環境系の選択科目2科目程度を開講、担当する。
- 【キーワード】
- 都市環境論／リサイクル技術／循環型社会システム／環境政策、環境配慮型社会／
ライフサイクルエンジニアリング／LCA（ライフサイクルアセスメント）
 - 採用後、自然科学系の基礎科目について、他の理系教員と共同で詳細を決定し、令和9（2027）年度から開講・分担できることが望ましい。
- <全教員共通科目>
- ・ 課題解決演習科目（課題解決入門、課題解決演習IA・IB、課題解決演習II、卒業プロジェクト）
 - ・ 体験・実践プログラム科目（国内ボランティア、国内インターンシップA・B、海外ボランティア、海外インターンシップ、海外短期プログラム）
 - ・ 令和9（2027）年度以降、「ライティング」や「初年次教育」等を担当する可能性がある。
- 学内業務（教務、入試、学生募集、学生支援、就職支援に係る業務等）
- 地域連携業務（各種学外連携講座、公開講座等）
- 4 応募資格
- 次の各号を全て満たす者
- (1) 教授：博士の学位若しくはこれに相当する研究業績又は実務経験を有する者。
准教授・講師・助教：修士の学位若しくはこれに相当する研究業績又は実務経験を有する者。
- (2) 本学の教育理念を踏まえ、教育研究活動を推進できる者。
- (3) 日本語及び英語で授業が開講できる者。
- (4) アクティブ・ラーニング（課題解決演習やグループワークなど）を用いたインタラクティブな授業運営ができる者。
- (5) 企業や国際機関、大学、NPO、地方自治体等の国内外の様々な主体と連携して教育が実施できる者。
- (6) 他分野の教員や外部の実務家教員等と連携した授業展開ができる者。
- (7) 本学のFD（ファカルティ・ディベロップメント）基本方針に基づき、自己研鑽や授業改善、授業公開、カリキュラム全体の改善などに積極的に取り組むことができる者。
- (8) 学校教育法第9条各号に規定する欠格条項のいずれにも該当しない者。
- 5 応募締切日 令和8年（2026年）1月30日（金）17:00（必着）
- 6 採用予定日 令和8年（2026年）9月1日又は令和8年（2026年）10月1日

7 雇用形態及び期間

- 原則として、テニュアトラック制で採用する。なお、教授として認められる者は、審査の結果により、採用当初から定年制とする場合がある。

<テニュアトラック制>

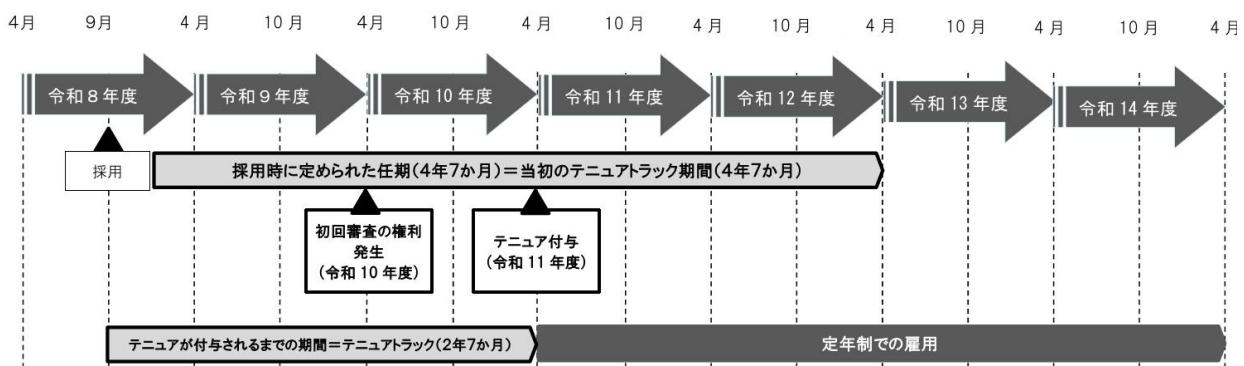
任期は5年以内であり、テニュア付与の審査に合格すれば、定年制に移行する。

原則として、採用された日から2年に達する日の翌日が属する年度以降に初回審査を受けることができる。

初回審査に合格しない場合は、初回審査を受けた年度の次年度以降に、再審査を受けることができる。

- 定年は満65歳とし、定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する。

例) 令和8年9月採用の教員が初回審査で合格した場合



参考：https://www.pu-hiroshima.ac.jp/p/reiki/reiki_int/reiki_honbun/u378RG00000409.html
https://www.pu-hiroshima.ac.jp/p/reiki/reiki_int/reiki_honbun/u378RG00000410.html

8 提出書類

- | | |
|--|------|
| (1) 応募票（様式第1号） | 1通 |
| (2) 履歴書（様式第2号） | 1通 |
| (3) 教育研究業績書（様式第3号） | 1通 |
| (4) 著書又は主要論文（別刷又はコピー可）
※（3）の教育研究業績調書の番号を○で囲むこと。 | 5編以内 |
| (5) 本学での教育・研究に対する抱負（A4、1枚以内、様式任意） | 1通 |
| (6) 課題解決演習の企画書（A4、1枚程度、様式任意） | 1通 |

【課題解決演習の企画書のイメージ】

- 対象：2年生又は3年生
- 期間：1クオーター（2、3か月）、7週14コマ
- 連携企業など：部品メーカー、食品製造業、サービス業、NPOなど業種を自由に選択
- 内容：企業などと連携した課題解決演習を企画

- | | |
|---|----|
| (7) 研究費（外部資金）の取得状況（様式第4号）
※ 代表、分担を明示し、取得順に記載のこと（取得実績がない場合は不要） | 1通 |
| (8) 次の①又は②のいずれかの書類（①は応募票に記載すること）
① 応募者に関する意見を聞くことのできる方2名の氏名と連絡先
② 推薦状（様式任意、推薦者の所属・役職を明記すること）
※ ①、②とも、応募者の専門分野以外の方でもかまいません。 | 2通 |
| ③ 上記（2）、（3）については、別紙「応募書類作成に当たっての留意事項」に留意して作成してください。 | |
| ④ 必要に応じて追加資料の提示を求める場合があります。 | |

◎ 指定様式については、本学ホームページからダウンロードしてください。

<https://eikei.ac.jp/news/10264/>

9 審査方法

- (1) 本学教員選考基準に基づき、書類審査及び面接を行います。
- (2) 面接対象者には、別途面接実施日を連絡いたします。
- (3) 面接と併せて、担当予定の「環境学入門」の英語での模擬講義（英語のシラバスの提出を求めます。）と、本学での教育・研究に対する抱負などについてプレゼンテーションを求め、質疑応答を行います。また、必要に応じて、二次面接を実施します。
- (4) 面接審査はオンラインで実施する場合があります。
- (5) 面接（二次面接を含む。）に要する費用は支給しません。

10 応募書類提出先

〒730-0016 広島県広島市中区幟町1-5

叡啓大学 教育企画課 宛

※ 応募書類は、封筒に「叡啓大学教員応募書類（環境学分野）在中」と朱書し、簡易書留またはインターナショナル・クーリエ・サービスにより送付してください。

11 問い合わせ先

E-mail : academic-planning@eikei.ac.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします。

ただし、年末年始（12月27日～1月4日）は対応を休止しますのでご了承ください。

12 勤務地

〒730-0016 広島市中区幟町1-5

13 留意事項

- (1) 応募書類は原則として返却しません。
- (2) 応募書類に記載された個人情報は、選考目的以外には使用しません。
- (3) 候補決定者には、保有する学位（それ以外の学歴を有する方については、最終学歴の卒業（修了）を証明する書類を提出していただきます。